

# 早春賦

作詞 吉丸一昌  
作曲 中田 章

一、 春は名のみの 風の寒さや。  
谷の鶯 歌は思えど  
時にあらずと 声も立てず。  
時にあらずと 声も立てず。

二、 氷解け去り 葦は角ぐむ。  
さては時ぞと 思うあやにく  
今日もきのうも 雪の空。  
今日もきのうも 雪の空。

三、 春と聞かねば 知らでありしを。  
聞けば急かるる 胸の思いを  
いかにせよとの この頃か。  
いかにせよとの この頃か。

編曲 保坂奈月

4

はるはりなとみみのりかしきあぜしらのさむさ  
るおるとときかねりばしらはつありさ  
はるはりなとみみのりかしきあぜしらのさむさ  
るおるとときかねりばしらはつありさ

8

やむをたさきにてのうぐいすたはうおも  
ををきけははとくぎぞるおむもねおあお  
ををきけははとくぎぞるおむもねおあお  
ををきけははとくぎぞるおむもねおあお

早春賦

12

どくを と きよ うか に あきせ らのよ うと もの こゆこ えきの たーて そーー のーー そこーろ

12 D A D/A A7 D A D/A A7 D A D/A A7

16

ずらか と きよ うか に あきせ らのよ うと もの こゆこ えきの たーて そーー のーー そこーろ

16 D A D A7 D G A7 D A D/A A7

20 1,2

ずら 一 こ は か 一

20 1,2 D 3. D

20 1,2 D 3. D